

東名ジャンクション（仮称）上部空間等利用計画（素案）報告会

議事のまとめ

日時：平成 27 年 8 月 17 日（月）

午後 7 時～午後 8 時 30 分

場所：喜多見東地区会館 会議室

出席（住民等）：24名

（オブザーバー）

国土交通省・東京都

中日本高速道路株式会社

東日本高速道路株式会社

開会

上部空間等利用計画（素案）の説明

- 1 素案作成までの経緯
- 2 上部空間等利用計画（素案）の内容
- 3 今後の進め方

東名ジャンクション周辺地区街づくりの検討状況の説明

意見交換

（1）

- ・上部空間等利用と周辺地区街づくりの28年度以降のスケジュールが、それぞれ「今後の進め方」のところで示されているが、外環工事の進捗状況によってはずれてくるのではないかと。外環工事について私が知っているのは、本線トンネル工事が平成31年度に終わる予定だということだが、その他の工事はこの後どう進むのか。周辺地区街づくりは外環工事とは直接関係なく進むかもしれないが、上部空間等利用の整備工事は、外環工事の進捗状況によって、いつから始められるかが決まってくると思う。

（区） 上部空間等利用の整備工事は、外環工事の進捗と密接に関係しており、外環工事の完了後に上部空間等利用の整備工事を始めることになる。外環工事の状況を見据えながら、それまでに、上部空間等利用計画の策定や施設の計画・設計などできることを進めていく。外環工事の今後の予定については、確認して、後日改めて回答させていただきたい。

- ・外環工事について、本線トンネル工事の後にどのような工事を行うのかなど、区は把握していないのか。

（区） 現在の進捗状況については、本線トンネルを掘削するための立坑本体

工事が終了し、その片付けを行っていると聞いている。本線トンネル工事の完了予定である平成31年6月以降については、詳細は把握できていない。上部空間等利用と外環工事は密接に関係している。上部空間等利用については、まずは計画を進めながら、実現するための整備を始めるタイミングについては、把握に努めていきたい。

(2)

- ・上部空間等利用計画(素案)の中で、野川沿いに並木を作るということだが、マラソンができるくらいの歩行者空間を確保してほしい。

また、以前、喜多見駅の近くで家の建て替えを行ったとき、道路に沿って空間を確保してほしいという指導があり、セットバックして建て替えを行った。しかし、その後何の話もなく、セットバックした空間で迷惑駐車が発生している。

(区) 野川沿いの並木についてお答えする。並木の整備を想定している場所は、外環事業の区域内である。現在遊歩道となっている河川管理用通路は、外環工事を経てそのまま残ると聞いており、遊歩道に沿って外環側に並木を整備する形になる。なお、具体的な並木の整備については、皆様の意見を伺いながら、緑の憩いの空間として整備していきたい。

(区) 道路については、喜多見駅から世田谷通りまでを結ぶ、都市計画道路補助125号線の件かと思う。補助125号線は、現在、東京都が事業主体となって用地取得を行っている。工事に関する件など、多数のご意見をいただいております。随時、東京都の担当部署である第二建設事務所にお伝えしている。今頂いた内容についても、第二建設事務所に伝えたい。具体の場所を聞かせていただければと思うので、後ほど個別に対応させていただきたい。

(3)

- ・上部空間等利用計画の基本方針では、地域の防災拠点としての位置付けがある。阪神淡路大震災では、高速道路が崩壊し、被害の要因となっていたことを考えると、高架下は地域の防災拠点として安全と言えるのか疑問である。コンクリートの耐用年数はどの程度なのか、将来40年後に災害が発生したとして果たして安全とすることができるのか。災害拠点として位置付けるのであれば、学校の校庭や体育館など広い地面のある場所こそ、災害時に必要だと思う。

また、小学校の第二校庭とあるが、そこで児童が遊んでいるときにコンクリートが落下して被害が出るのではないかと。

(区) 高速道路の構造物については、耐震補強が施されていると聞いている。青空部分も含めてこの場所を活用しながら資材や物資を一時的にストックし、平常時はこの場所をつかった防災訓練を行うことなどを想定

している。コンクリートの耐用年数については、確認させていただきたい。また、高架下空間の利用にあたっては、落下防止対策を講じた上で利用することとなる。

- ・コンクリートの耐用年数については調べてもらえるのか。

(区) 調べて報告させていただく。高速道路の管理は高速道路株式会社が行っているが、高架下空間を区が利用する場合は、高速道路本体に影響のないよう区が管理することになる。

(4)

- ・上部空間等利用計画(素案)のゾーニング図に河川管理用通路が示されていない部分があるが、将来、この示されていない部分の河川管理用通路は確保されないのか。

(区) 図では重なって見づらいが、河川管理用通路は現状と変わらず、将来も残ることになる。

(5)

- ・上部空間等利用計画(素案)ではゾーン区分までを示している。今後、より詳細な上部空間等利用計画を策定していくことになるが、計画策定においても住民が参加できるような機会はあるのか。

(区) 今後、計画策定に向けて、区域や整備主体、管理区分を決めていくが、区が利用できる部分については、皆様のご意見を伺いながら進めていく予定である。

(6)

- ・喜多見大橋と世田谷通りの間で多摩堤通りに交差する機能補償道路があるが、この機能補償道路からは多摩堤通りに右折できない。利用できないような道路ができて仕方がないと思う。

(区) 機能補償道路の案は、平成25年に外環事業者から示された。概ねの位置や幅員は示されているが、具体的な検討は、今後、交通管理者等とも協議をしながら進めていく予定と聞いている。別途報告または説明等を行う機会を設けさせていただきたい。

(7)

- ・上部空間等利用計画の基本方針の3)に記載されているが、上部空間等利用の対象となる区域は、地域の防災拠点として利用できると思う。しかし、3)の最初に記述されている「東京外かく環状道路は都心に集まる幹線道路と連結するため、震災時にはそのネットワークを生かした救援物資の輸送などが可能となるとともに」の部分は不要だと思われる。

(区) 指摘のあった部分の記述については、「世田谷区地域防災計画」において、輸送道路としての機能が期待されている。また、他都市で災害が発生した場合には外環のネットワークを活用し、広域的な連携を実施することが想定されている。

- ・災害が起きれば、高速道路は通行できなくなる。特に外環道は地下であるため、車を放置して徒歩で避難することになるだろう。したがって、震災が発生すれば高速道路は使えなくなり、救援物資の輸送はできないと思われる。また、この記述は外環そのものに関する記載であり、上部空間等利用計画とは直接関係ないのではないかと。

(区) この地域で震災が発生すれば高速道路は通行できなくなると思われるが、他都市で発災した場合、例えば、維持管理用の出入口を使って広域的に連携することは考えられる。

- ・外環の維持管理用の出入口が東名ジャンクションにできるとは聞いていないが、出入口ができるのか。

(区) 実際に維持管理用の出入口が整備されるかどうかについては、今後、確認ができ次第、報告させていただきたい。整備されるのであれば、外環事業者と協定を結び、災害時に活用できるようにしたいと考えている。

- ・維持管理用の出入口について、まだ決まっていないことを決まったことのように説明するのは、混乱を招くので言い方を変えるべきである。

この地域の防災のための拠点については理解できるが、他の地域に災害があった場合の対応を記載することには疑問がある。

(区) この場でいただいた防災に関する様々なご意見については、ご意見として承り、今後の上部空間等利用計画(案)の作成に活かしていきたい。

- ・基本方針の3)に「震災や水害から区民を守る地域の防災拠点」とあるように、地方での災害時に備えるなどの内容はなくてもよいと思う。これまで話し合ってきたのも、地域で使えるようにしようということであった。

(区) 先ほどは決定的なダメージを受けたときの指摘があったので、広域的な連携の話をしたが、上部空間が使える状況であれば、もちろん、地域の方が利用されることを主体と考えている。

(8)

- ・上部空間等利用計画(素案)のゾーン区分における緩衝緑地について、喜多見小学校の周辺では緩衝緑地の幅が広がっているが、野川沿いの喜多見六丁目

辺りではその幅が狭くなっている。野川沿いの部分も、喜多見小学校周辺と同じようになるべく多くの樹木を植えて緑化してほしい。

(区) トンネルの出口等、開削部分については、それに沿って緑化を図り、騒音や排気ガスなどの緩衝帯となることが期待されている。今後、緩衝緑地の具体的な検討を進めていく中で、樹種や緑地帯の幅など、皆様のご意見を伺いながら進めていきたい。

・期待している。できれば、ジャンクション周辺の全てが緑化できるとよい。

(9)

・今後の街づくりの進め方についてだが、道路整備を進めていく段階で、一時的にへび玉状の道路ができてしまうのは仕方ないと思う。ただ、先ほどの喜多見駅周辺の道路のセットバックに関するご意見のように、早い時期に協力した住民が泣きを見ないよう工夫していただきたい。

(区) 道路空間として整備されている部分については、関係する方にとっては非常に大切な部分である。今後、道路ネットワーク案で配置をした路線ごとに意見を伺う機会を設けるが、今頂いたご意見も踏まえながら進めさせていただきたい。

以上